

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月24日

上場会社名 日本電産コパル電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6883 URL <http://www.nidec-copal-electronics.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 實
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中平 英晴 (TEL) 03(3364)7071
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	22,267	△3.8	3,386	△10.0	3,339	△7.1	2,188	△2.3
23年3月期第3四半期	23,145	34.6	3,764	163.9	3,596	158.7	2,241	162.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,977百万円(15.9%) 23年3月期第3四半期 1,706百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	33 01	—
23年3月期第3四半期	33 80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	34,912	26,360	75.1
23年3月期	34,641	25,138	72.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 26,215百万円 23年3月期 25,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6 00	—	6 00	12 00
24年3月期	—	6 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7 00	13 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△5.2	4,000	△19.5	4,000	△18.3	2,600	△9.9	39 21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合の該当あり)

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	66,452,000株	23年3月期	66,452,000株
24年3月期3Q	149,780株	23年3月期	149,664株
24年3月期3Q	66,302,301株	23年3月期3Q	66,302,336株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(4) 追加情報	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
(7) 重要な後発事象	P. 11
4. 補足情報	P. 12
(1) 連結決算概要	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経営環境につきましては、東日本大震災の復興需要に力強さが見出せないなかで、欧州景気後退および当該影響の新興国への波及・ユーロを主とした円高の加速・タイ洪水の客先への影響等様々な業績悪化要因が重なるなど、非常に厳しい状況で推移しました。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、全体では前年同期対比3.8%減の222億6千7百万円となりましたが、半導体製造装置関連が堅調のセンサ事業や、国内向けモータが好調であったアクチュエータ事業は前年同期を上回る実績となりました。

当第3四半期連結累計期間の損益につきましては、全社に渡るコストダウンや生産効率アップにもかかわらず円高の更なる加速に伴う輸出採算悪化の影響も加わり、前年同期と比較して連結営業利益は10.0%減の33億8千6百万円、連結経常利益は7.1%減の33億3千9百万円となりました。また、連結四半期純利益につきましては、(株)フジソクの繰延税金資産計上などにより減益率は縮小したものの前年同期比2.3%減の21億8千8百万円となりました。なお、売上高営業利益率につきましては、円高進行等もあり前年同期より1.1ポイント低下の15.2%の結果となりました。

①セグメント別売上高・セグメント利益(営業利益)

当第3四半期連結累計期間の売上高は全体で前年同期比3.8%減の222億6千7百万円、営業利益は全体で前年同期比10.0%減の33億8千6百万円となっており、セグメント別の状況については以下の通りであります。

(a) エレクトロニック&メカニカルコンポーネンツ※

当セグメントの売上高につきましては、主要客先である情報通信業界・家電業界への欧州景気後退やタイ洪水等の影響もあって、前年同期比11.3%減の94億6千8百万円の結果となりました。

セグメント利益(営業利益)につきましては、期初の震災による被災生産ロスや減収などの影響で前年同期比40.6%減少し、11億5千9百万円となりました。また、売上高セグメント利益率は前年同期比6.1ポイント低下の12.2%となりました。

※第1四半期連結会計期間より事業部名称変更に伴い、「電子回路部品」から「エレクトロニック&メカニカルコンポーネンツ(E&MC)」にセグメント名称を変更しております。

(b) センサ

当セグメントの売上高につきましては、主に期初の半導体製造装置業界・空圧業界等の需要が好調に推移した結果、前年同期比6.3%増の25億3千8百万円となりました。

セグメント利益(営業利益)につきましては、増収および生産効率向上等により前年同期比68.8%増の4億4千9百万円となりました。また、売上高セグメント利益率は前年同期比6.6ポイント上昇の17.7%となりました。

(c) アクチュエータ

当セグメントの売上高につきましては、遊技機器業界向けモータの需要が好調に推移したためモータが前年同期比20.8%の増収、事務機器業界等からの引き合い堅調によりスキャナが前年同期比2.4%の増収となった結果、部門全体で前年同期比15.6%増の78億5千1百万円となりました。

セグメント利益(営業利益)につきましては、増収などにより前年同期比8.5%増の13億7千3百万円となりました。また、売上高セグメント利益率は、円高による輸出採算悪化他により前年同期比1.1ポイント低下の17.5%となりました。

(d) 商品

当セグメントの売上高につきましては、携帯電話向けタッチパネルの終息他により、前年同期比26.6%減の24億8百万円となりました。

セグメント利益(営業利益)につきましては、減収等により前年同期比30.7%減の2億4千1百万円となりました。また、売上高セグメント利益率は前年同期比0.6ポイント低下の10.0%となりました。

② 経常利益

当第3四半期連結累計期間の経常利益につきましては、上記営業利益の変動要因の他に、支払補償費他営業外費用の減少や営業外収益の増加により減益率は縮小したものの前年同期比7.1%減の33億3千9百万円となりました。

③ 四半期純利益

当第3四半期連結累計期間の四半期純利益につきましては、適用税率変更に伴う繰延税金資産の取崩しはあったものの、㈱フジソクの業績安定化による繰延税金資産認識などにより減益率は縮小し、前年同期比2.3%減の21億8千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産が売掛債権や未収入金の増加等により前連結会計年度末比7億2千5百万円増加し252億5千4百万円となりました。また、固定資産がのれんの償却や長期繰延税金資産の減少等により前連結会計年度末比4億5千4百万円減少し96億5千7百万円となり、その結果、総資産は前連結会計年度末比2億7千万円増加し349億1千2百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債が未払法人税等の減少等により前連結会計年度末比8億9百万円減少し73億3千4百万円となりました。また、固定負債が退職給付引当金の減少等により前連結会計年度末比1億4千1百万円減少し12億1千7百万円となり、その結果、負債合計は前連結会計年度末比9億5千1百万円減少し85億5千2百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末比12億2千2百万円増加し263億6千万円となりました。前連結会計年度末との比較での主な増加要因は四半期純利益21億8千8百万円、主な減少要因は剰余金の配当7億9千5百万円及び為替換算調整勘定の変動1億7千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

円高の進捗状況や直近の客先動向など足下の業績見通しに基づき、平成24年3月期通期連結業績予想につきまして平成23年4月25日公表の通期連結業績予想値と比較し、売上高290億円(前回公表比△17億円)、営業利益40億円(前回公表比△10億円)、経常利益40億円(前回公表比△10億円)、当期純利益26億円(前回公表比△5億円)と各々下方修正致します。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①有形固定資産の償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、近年の中国製造移管進捗・中国グループ会社保有有形固定資産比率上昇(定額法適用資産重要性増加)を背景にしたグループ償却方法統一の観点や、資産の実際の費消パターンとの整合の観点で有形固定資産の償却方法の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より定率法適用有形固定資産の減価償却方法について、定率法から定額法に償却方法を変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、従来の方法と比較し、それぞれ169,101千円増加しております。

②有形固定資産の見積り耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の見積り耐用年数の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より、より実態に合致した耐用年数に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、従来の方法と比較し、それぞれ34,375千円減少しております。

③有形固定資産の見積り残存価額の変更

当社及び主要連結子会社は、より実態に合致するよう有形固定資産の見積り残存価額の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の見積り残存価額を備忘価額(備忘価額まで償却)とする方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、従来の方法と比較し、それぞれ89,068千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,746,360	7,329,106
受取手形及び売掛金	9,540,745	10,196,762
たな卸資産	5,905,673	6,145,630
その他	1,348,779	1,597,303
貸倒引当金	△12,385	△14,208
流動資産合計	24,529,173	25,254,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,982,306	2,862,376
機械装置及び運搬具(純額)	2,663,508	2,711,618
工具、器具及び備品(純額)	675,777	690,775
土地	1,599,296	1,599,296
建設仮勘定	28,208	73,224
有形固定資産合計	7,949,098	7,937,291
無形固定資産		
のれん	223,240	—
その他	646,123	585,332
無形固定資産合計	869,363	585,332
投資その他の資産	1,293,651	1,134,938
固定資産合計	10,112,112	9,657,563
資産合計	34,641,286	34,912,158
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,619,141	5,024,715
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,321,847	183,255
賞与引当金	624,645	342,709
その他	1,478,816	1,684,095
流動負債合計	8,144,450	7,334,776
固定負債		
退職給付引当金	1,054,730	942,743
その他	304,074	274,491
固定負債合計	1,358,805	1,217,235
負債合計	9,503,256	8,552,012

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,362,050	2,362,050
資本剰余金	2,263,488	2,263,488
利益剰余金	21,018,558	22,411,792
自己株式	△37,088	△37,145
株主資本合計	25,607,008	27,000,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,021	△245
為替換算調整勘定	△606,673	△784,759
その他の包括利益累計額合計	△566,652	△785,004
少数株主持分	97,674	144,965
純資産合計	25,138,030	26,360,146
負債純資産合計	34,641,286	34,912,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	23,145,644	22,267,360
売上原価	15,607,896	15,051,453
売上総利益	7,537,747	7,215,907
販売費及び一般管理費	3,773,238	3,828,915
営業利益	3,764,509	3,386,992
営業外収益		
受取利息及び配当金	22,177	45,916
受取保険金	—	36,886
その他	33,202	29,031
営業外収益合計	55,379	111,834
営業外費用		
支払利息	12,528	2,013
売上割引	5,594	5,293
為替差損	139,724	121,270
支払補償費	51,381	10,585
その他	13,955	19,740
営業外費用合計	223,184	158,904
経常利益	3,596,703	3,339,922
特別利益		
固定資産売却益	1,119	7,525
投資有価証券売却益	1,214	—
その他	3	—
特別利益合計	2,337	7,525
特別損失		
固定資産除売却損	8,344	7,058
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,378	—
災害による損失	—	33,932
その他	7,514	322
特別損失合計	34,237	41,312
税金等調整前四半期純利益	3,564,804	3,306,135
法人税、住民税及び事業税	1,227,310	864,767
法人税等調整額	86,275	238,089
法人税等合計	1,313,585	1,102,856
少数株主損益調整前四半期純利益	2,251,218	2,203,278
少数株主利益	10,045	14,416
四半期純利益	2,241,173	2,188,862

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,251,218	2,203,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,844	△40,267
為替換算調整勘定	△501,154	△185,677
その他の包括利益合計	△544,999	△225,944
四半期包括利益	1,706,219	1,977,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,706,397	1,970,509
少数株主に係る四半期包括利益	△177	6,824

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第3四半期連結会計期間末の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算においては、平成23年12月2日公布の「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)に基づく税率・規定を反映し算定を行っております。

当該算定に伴い、従来と比較して当第3四半期連結会計期間末の短期繰延税金資産は39,287千円の減少、長期繰延税金資産は37,097千円の減少、長期繰延税金負債は9,974千円の減少、その他有価証券評価差額金は151千円の増加となっております。また、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は税金費用(法人税等調整額)の増加により66,562千円の減少となっております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 ^{注2}	四半期連結損益計算書計上額 ^{注1}
	電子回路部品	センサ	アクチュエータ	商品		
売上高						
外部顧客への売上高	10,679,465	2,387,970	6,794,834	3,283,373	—	23,145,644
セグメント利益	1,950,661	266,024	1,265,743	348,402	△66,323	3,764,509

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 調整額の内容は以下のとおりです。

(単位:千円)

項目	金額
のれん償却額	△287,023
販売費及び一般管理費予算実績差異(※1)	54,951
棚卸資産の調整額(※2)	165,748
合計	△66,323

※ 1 セグメント利益は、販売費及び一般管理費につき予算値ベースで算定しております。

2 棚卸資産の調整額は、棚卸資産に含まれる製造間接費の調整額、標準単価の改訂による調整額及びたな卸資産評価損等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 ^{注3}	四半期連結 損益計算書 計上額 ^{注2}
	E&MC ^{注1}	センサ	アクチュエータ	商品		
売上高						
外部顧客への売上高	9,468,268	2,538,321	7,851,869	2,408,901	—	22,267,360
セグメント利益	1,159,639	449,007	1,373,050	241,293	164,001	3,386,992

- (注) 1 第1四半期連結会計期間より事業部名称変更に伴い、セグメント名称を電子回路部品からE&MC(エレクトロニック&メカニカルコンポーネンツ)に変更しております。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 調整額の内容は以下のとおりです。

(単位:千円)

項目	金額
のれん償却額	△223,240
販売費及び一般管理費予算実績差異(※1)	182,935
棚卸資産の調整額(※2)	204,306
合計	164,001

- ※1 セグメント利益は、販売費及び一般管理費につき予算値ベースで算定しております。
- 2 棚卸資産の調整額は、棚卸資産に含まれる製造間接費の調整額、標準単価の改訂による調整額及びたな卸資産評価損等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 連結決算概要



平成24年1月24日
日本電産コパル電子株式会社

平成24年3月期(第45期)第3四半期連結決算概要

1. 連結業績の状況

(百万円未満切捨て)

	当第3四半期 (累計) 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	前年 同期 増減率	前第3四半期 (累計) 自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	当第3四半期 自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	前年 同期 増減率	前第3四半期 自平成22年10月1日 至平成22年12月31日
売上高	百万円 22,267	% △3.8	百万円 23,145	百万円 7,179	% △2.3	百万円 7,348
営業利益	3,386 (15.2%)	△10.0	3,764 (16.3%)	867 (12.1%)	△24.7	1,151 (15.7%)
経常利益	3,339 (15.0%)	△7.1	3,596 (15.5%)	867 (12.1%)	△21.0	1,098 (14.9%)
四半期 純利益	2,188 (9.8%)	△2.3	2,241 (9.7%)	473 (6.6%)	△29.6	672 (9.2%)
一株当たり 四半期純利益	円 銭 33.01	—	円 銭 33.80	円 銭 7.14	—	円 銭 10.14

(注) ()内は、対売上高比率

2. 連結財政状態

	当第3四半期末	前第3四半期末	前年度末
総資産	百万円 34,912	百万円 35,670	百万円 34,641
純資産	26,360	24,367	25,138
自己資本比率	% 75.1	% 68.1	% 72.3
一株当たり 純資産	円 銭 395.39	円 銭 366.11	円 銭 377.67

3. 配当の状況

	第2四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 6.00	円 銭 6.00	円 銭 12.00
24年3月期	6.00	—	—
24年3月期(予想)	—	7.00	13.00

4. 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 11社 持分法適用会社数 1社

<前期末(平成23年3月)比の異動状況>

連結 (新規) 1社 (除外) 1社 持分法 (新規) 1社 (除外) 1社

<前年同期末(平成22年12月)比の異動状況>

連結 (新規) 1社 (除外) 1社 持分法 (新規) 1社 (除外) 1社